



日本フォレンジック看護学会 第10回学術集会

プログラム&抄録集 (簡易版)

日 程： 2023年8月27日(日) ～ 8月28日(月)

会 場： 和歌山県立医科大学 (和歌山市三葛 580)

大 会 長： 池田 理恵 (和歌山県立医科大学保健看護学部教授)

実行委員長： 宮澤 純子 (城西国際大学看護学部教授)



* 2023年8月1日更新版

第 10 回学術集会開催にあたって

ごあいさつ

第 10 回学術集会 大会長 池田 理恵
和歌山県立医科大学 保健看護学部 教授



日本フォレンジック看護学会は 10 周年を迎え、この節目の年に、不同意性交等罪が施行されます。10 年の学会の歩みと学会員ひとりひとりの活動が社会や政策に働きかけた成果ではないかと思えます。第 10 回日本フォレンジック看護学会学術集会では学会のこれまでの歩みを振り返り、これからの 10 年に向け、課題を含め、未来を考える機会としていただければ幸いです。

第 10 回日本フォレンジック看護学会学術集会のテーマは、「暴力を防ぐ ポピュレーション/ハイリスク アプローチ」です。

30 年以上前、「うつぶせ寝育児」はあかちゃんがよく寝る、よく育つ、頭の形が良くなると推奨されていました。その後、乳幼児突然死症候群（SIDS）のリスク因子であることが明らかになり、SIDS 予防の仰向け寝キャンペーンが展開されました。これまでの常識が非常識になる急激な変化で、転換には混乱もあったと思えます。実習病院で、夜勤の看護者は新生児室に常駐ではなかったので、あかちゃんをうつ伏せ寝にして新生児室にかぎをかけ、病室を回り、新生児室に戻って、呼吸が止まっているあかちゃんを発見したということがありました。あかちゃんは亡くなり、看護者の責任を問う裁判にもなりました。すでにあおむけ寝が推奨されていましたが、看護者でさえ、日頃のケアを転換することは時間を要したということ、私自身も知っている方で、とても他人事には思えませんでした。2008 年、英国グラスゴーで開催された ICM で「乳児の睡眠」についてポスター発表を行ったさい、ポスターを見てくれた誰もが、SIDS 予防について触れました。私は乳児の睡眠環境、特に温熱環境を中心に研究をしてきて、それまで安全というより快適という視点に軸足があったように思うのですが、多くの助産師の SIDS 予防に対する熱量に触れ、睡眠環境との関係を強く意識するようになりました。

2022 年 6 月にアメリカ小児学会は「乳児の睡眠関連死を防ぐ睡眠環境の方針」を改定し、SIDS のみならず、睡眠に関連した死亡を防ぐためのものなのだと、改めて感じました。2022 年より前の 2016 年には「SIDS and Other Sleep-Related Infant Deaths: Updated 2016 Recommendations for a Safe Infant Sleeping Environment」と、SIDS がタイトルにあるのですが、2022 年では Sleep-Related

Infant Deaths と、SIDS は睡眠関連死に含まれる表現になりました。乳児の睡眠関連死の予防として、寝具に関することは詳細に記されています。掛物や衣類で何重にもくるむこと、顔や頭まで掛物をかけること、柔らかい敷寝具がリスク要因になることについて、事故と SIDS を防ぐ両方の対策が表現されています。事故が起こりえない環境で、心肺停止になったのであれば、病死か SIDS が推測されることになるでしょう。リスクの高い寝具を使用するなど、不適切な養育による事故は、虐待の可能性を排除できません。または身体的虐待の可能性もあります。

看護者は乳幼児の睡眠環境における突然死に際し、グリーフケアと原因の究明を同時に行う必要があります。睡眠関連死を予防する教育はポピュレーションアプローチであり、不適切な養育や虐待を防ぐケアはハイリスクアプローチといえるでしょう。看護職がその時どのように活動できるのか、現状を知り、フォレンジック看護が果たす役割を共有したいと思います。

Covid-19 の感染症法上 5 類への移行に伴い、和歌山県での学術集会対面開催を予定しています。対面で語り合えることが、学会の次の 10 年に向けた推進力となりますよう、皆様のご参加をお待ちしております。

第10回学術集会 歓迎の言葉

ごあいさつ

公立大学法人 和歌山県立医科大学
理事長・学長 宮下 和久



日本フォレンジック看護学会第10回学術集会が、本学保健看護学部池田理恵教授を大会長として開催されるにあたり、開催大学を代表して心より歓迎申し上げます。

人々の健康を保持増進する課題は多岐にわたりますが、WHOの声明にありますように「暴力が健康に及ぼす影響」は、近年大変重要な課題となっています。ロシアのウクライナへの侵攻という世界が直面する国家、地域間の戦争暴力、災害、女性や子ども、高齢者等への弱者への暴力、性暴力などが社会的問題とともに大きな健康問題となっています。こうした背景から、これらの問題に看護の分野から学術的なアプローチを通して、暴力と虐待の防止とケア、ひいては国民の健康福祉の向上に資するのが本学会の目的とされています。医学分野での法医学の位置づけ、特に司法からの暴力的行為に関する医学的エビデンスの貢献に加えて、この学会が目指す看護領域からの、法律に根差した看護の実践、被害者のみならず加害者へのケア、暴力の予防およびそれを実践する専門職としての人材育成への期待は益々高まってくると期待されます。

今大会は、10回目の節目の大会として、記念講演が予定されております。また、大会長講演「暴力を防ぐポピュレーション/ハイリスクアプローチ」が池田理恵教授から、本学医学部法医学教室近藤稔和教授から「乳幼児の突然死の手続きと死因解明」と題した講演と関連するシンポジウムが、更には、性暴力や子どもの安全に関する講演等の企画が盛りだくさんに準備されています。2日間にわたる本学会が盛会裡に開催され、多くの新たな成果が生まれることを祈念申し上げます。

時は、まさに夏休みです。学会でお疲れのあとは、和歌山で是非おくつろぎ頂きたいと思えます。地元、和歌山市の和歌浦、雑賀崎に足を延ばしていただきますと、古く「万葉集」に謳われた「片男波」と呼ばれる長い砂嘴の海岸美が楽しめます。また、高野山から、熊野、新宮に通じる熊野古道・高野参詣道を歩く世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」への旅や、白浜温泉、那智勝浦温泉、龍神温泉など県下の美湯を訪ねる旅もおすすめです。新鮮な、和歌山の海の幸、山の幸も是非味わってください。

最後に、本学会の益々のご発展とご参会の皆様のご健勝を祈念申し上げ、歓迎の御挨拶とさせていただきます。

開催要項

日本フォレンジック看護学会第10回学術集会

テーマ：暴力を防ぐ ポピュレーション/ハイリスク アプローチ

開催日：2023年8月27日（日）、28日（月）

当日のライブ配信なし

オンデマンド配信期間：9月1日（金）～10月9日（月）

会場：和歌山県立医科大学保健看護学部（和歌山県和歌山市三葛 580）
≫三葛キャンパス：JRきのくに線 紀三井寺駅下車 徒歩約10分



大会長：池田理恵 和歌山県立医科大学保健看護学部教授

実行委員長：宮澤純子 城西国際大学看護学部教授

参加費とお申込：

- ① 8月10日（木）までの申し込み 会員 8,000円 非会員 10,000円
- ② 8月11日（金）～9月20日（水） 会員 10,000円 非会員 12,000円

申し込み締め切りは9月20日です。

学生は無料ですが、申込時に学生証のコピーの添付が必要です。
*学生には院生を含みません。 学部生、専門学校生のみです。

その他、申込時に以下の選択をお願いします。

- 1. 現地参加の有無
- 2. お弁当申込
*1日目と2日目ごとに申込・一つにつき1,000円を参加費と同時に入金
- 3. 懇親会参加の有無（詳細は後日。参加費は現地で集金します。）
*懇親会は8月27日（日）18:30～開催予定です。

参加費はカードによるWEB決済か銀行振り込みです。

一般演題募集期間：6月1日（木）～7月20日（木）

- *フォレンジック看護および関連テーマに関する演題を募集します。
- *演者のオンライン参加は可能です。

一般演題の発表は「口演」です。ポスター発表はありません。

発表については、以下の順に推奨します。


- ① 現地での対面発表
- ② 当日オンラインでの口演（ZoomまたはTeams利用）
- ③ 事前録画による発表（この場合質疑応答は行いません）

プログラム 8月27日(日)

時間	内容	会場
9:30	開場・受付	
10:00	開会式	大講義室
10:10 ～ 10:45	大会長講演  「暴力を防ぐポピュレーション/ハイリスクアプローチ」 大会長：池田理恵（和歌山県立医科大学保健看護学部教授）	大講義室
11:00 ～ 12:00	日本フォレンジック看護学会 10周年講演  「10周年お祝いのメッセージ」 ヴァージニア・リンチ 「わたしたちの10年の歩み」 加納尚美（理事長）	大講義室
昼食		
13:00 ～ 14:30	講演 I  「乳幼児の突然死の手続きと死因究明」 講師：近藤稔和（和歌山県立医科大学法医学教授）	大講義室
14:45 ～ 16:15	シンポジウム  「乳幼児の突然死とフォレンジック看護」 ① 乳幼児の突然死とフォレンジック看護 大屋夕希子 ② 乳児の寝床環境に関する養育者・ 支援者の意識と実際 姫宮彩子 ③ 乳児の安全な睡眠環境 池田理恵	大講義室
16:30 ～ 17:30	一般口演  フォレンジック看護および関連テーマに関する発表 (演題数未定)	3会場で 開催予定
18:30 ～ 20:00	懇親会 ホテルグランヴィア和歌山	

プログラム 8月28日(月)

時間	内容	会場
8:45	開場・受付	
9:15 ～ 10:15	講演Ⅱ  「不同意性交等罪の施行と被害者支援の課題」 講師：山本潤（日本フォレンジック看護学会理事）	大講義室
10:30 ～ 11:30	講演Ⅲ  「性暴力サバイバーが出産するとき」 講師：白井千晶（静岡大学人文社会科学部教授）	大講義室
昼食		
12:15 ～ 13:30	講演Ⅳ  「子どもの生命（いのち）の安全教育」 講師：浦尚子（福岡犯罪被害者支援センター） 講師：加来麻子（福岡犯罪被害者支援センター）	大講義室
13:45 ～ 14:45	講演Ⅴ  「性的同意のワークショップを実践して」 講師：本田義明 （慶應義塾大学未公認団体 Safe Campus）	大講義室
14:45 ～ 15:00	表彰式・閉会式	大講義室

* マークのついているものは、9月1日(金)～10月9日(月)まで、オンデマンド配信いたします。

* オンデマンド配信をご覧になるには参加者限定の閲覧用パスワードが必要です。

会場参加のみなさまへ ご案内とお願い

1. 参加証について

参加証は、参加費お支払いの際に領収証とともにメール添付にて発行いたします。参加当日には忘れずにお持ちいただき、受付でお渡しするネームホルダーに入れて常時携帯してください。

2. マスク着用等について

Covid-19 感染拡大予防については、開催会場の 和歌山県立医科大学の方針に準拠します。体温測定の実施、マスク着用、会場入退室時の手指消毒が必要となった際はご協力ください。体調がすぐれない方は、会場を退出していただくこともございます。どうぞご了承ください。

3. 喫煙について

会場内、大学構内すべて禁煙です。喫煙所はありません。

4. 携帯電話等について

会場内では、電源をお切りになるか、マナーモード等の音が出ない設定にしてくださいようお願いします。また、歩きながらの携帯端末の操作は、他の参加者へ迷惑となりますのでご遠慮ください。

5. 救護所について

学術集会参加中に体調が悪くなった場合は、遠慮なくスタッフにお声がけください。

6. 合理的配慮について

対応が必要な場合は、スタッフにお声がけください。可能なかぎり善処いたします。

7. 災害発生時の対応について

万一、火災・地震等の災害が発生した場合には、スタッフの指示に従い、落ち着いて行動するようご協力をお願いします。

8. 落とし物、忘れ物等について

会場内で落とし物や忘れ物を見つけた場合、遺失物でお困りの場合は、受付か近くのスタッフにお知らせください。
落とし物・忘れ物のご案内は、受付前・会場前の「掲示板」にてお知らせします。

9. クロークについて

会場では荷物のお預かりは行っておりませんので、ご了承ください。

録音、動画・写真撮影について

学術集会事務局からのお願い

学術集会の記録およびオンデマンド配信のため、学術集会事務局が、講演等のビデオ撮影や会場内の写真撮影をさせていただきます。

参加者個人のお顔をアップするような撮影（個人が特定されるような撮影）は行いません。あくまでも記録に資する撮影を行います。

メディアからの取材は、大会長が許可した場合に限り行えるものとします。メディア取材の際には、参加者に対して事前に説明いたします。

上記の撮影で得た写真や動画、音声について、学術集会のオンデマンド配信のほかに、当学会が広報活動等に必要と判断した場合には、当学会のホームページや学会誌等に掲載することがあります。あらかじめ、ご理解とご協力をお願いします。

学術集会事務局やメディアの撮影や公開に関し、不都合がある場合はスタッフへお申し出ください。個別の配慮を講じます。

SNS（ライン、インスタグラム等）での情報拡散について、本大会の様子をその都度外部に流したり、詳細を記録し公開したりすることはご遠慮ください。

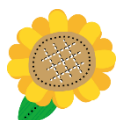
肖像権・著作権の観点から、参加者が講演や演題発表を録音、動画・写真撮影すること、および学術集会サイト上の動画のダウンロード、スクリーンショットの撮影を禁じます。

さらに、今一度ご確認ください。

意図的ではなくても、自身を撮影・録画等する際に、他者や他者の発表物を撮影している場合があります。肖像権や著作権に配慮した取り扱いをお願いします。

後援団体

本大会開催に際し、関係各方面のみなさまから多大なるご支援を賜りました。
ここに深く感謝申し上げます。



厚生労働省

内閣府男女共同参画局

和歌山県

和歌山市

特定非営利活動法人 女性の安全と健康のための支援教育センター

公益社団法人 日本看護協会

一般社団法人 日本子ども虐待防止学会

公益社団法人 日本産婦人科医会

一般社団法人 日本助産学会

公益社団法人 日本助産師会

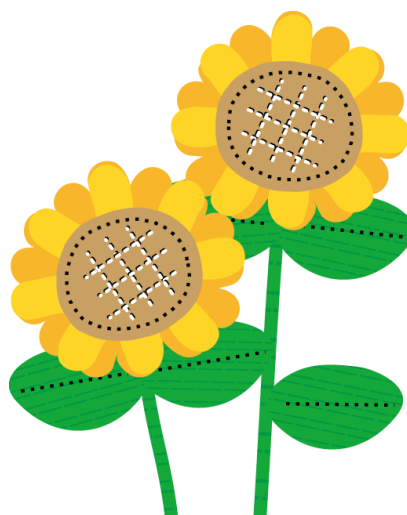
一般社団法人 日本私立看護系大学協会

一般社団法人 日本トラウマティック・ストレス学会

特定非営利活動法人 日本法医学会

公益社団法人 和歌山県看護協会

和歌山弁護士会



協賛企業

- 龍宮株式会社：人に、いちばん、やさしいものを、いつも、ずっと、つかえるものを

寝つきがよく、リラックスして眠れる寝具「パシーマ®」

pasima

Made in Japan. OEKO-TEX® Standard 100 Class One Certified.

パシーマ®

<https://pasima.com/>

**「第3回健康科学ビジネスベストセレクションズ」大賞受賞
経済産業省「次代を担う繊維産業企業100選」に選ばれました。**

パシーマは医療用の脱脂綿とガーゼを使った寝具です。赤ちゃんがなめてももちろん安全です。それに洗濯がとんとんできます。ですからアレルギーの原因物質を洗い流すことができるのです。

「乾きが速い」、「冬もあたたかい」、「ホコリが少ない」、「洗うほど気持ちいい」、「寝つきがよい」、「リラックスして眠れる」などは、各研究機関でのエビデンスに基づいています。

脱脂綿がふとんの綿の2倍近い保温性があることが確認されました(福岡県工業技術センター調)。また、睡眠の実験を行い、寝つきがよいこと、リラックスして眠れることに有意差があることがわかりました(東邦大学、奈良女子大学調)。肌ざわりも良くなるという結果も出ました(福岡女子大調)。

パシーマは、夏も冬も、冬から春にかけての三寒四温の時にも、また、1晩の中での冷える明方でも快適に使えることを示しています。

うきは市の「ふるさと納税記念品カタログ」でも好評です！

この製品は繊維製品の国際試験研究共同体により、人に対する安全性、信頼性の認証規格である「エコテックス規格100」の最も厳しい分類の「製品分類I(乳幼児用製品)」をクリアしています。赤ちゃんの肌にも使える安全性が国際規格でも認められています。



パシーマチームが受賞しました



経済産業省「地域未来牽引企業」・「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定。

(一社)日本寝具寝装品協会(JBA)「ヘルスケア認定寝具™」に認定されました。(パシーマ)カラーキルトケット)



龍宮株式会社

福岡県うきは市吉井町新治278
TEL 0943-75-3148
FAX 0943-75-3140

<https://pasima.com/>



協賛企業

- 中田食品株式会社：紀州梅干しの老舗

ふっくら果肉にとろける食感

紀州の梅干

紀州産南高梅

しらら 塩分 5%

紀州産南高梅の風味を生かしながら、さっぱりとしたやさしい甘みに仕上げました。さわやかな酸味で、ご飯がすすむ梅干です。

ご注文は、お電話・インターネットで承っております。 【インターネット】紀州梅の里 なかた オンラインショップ
<https://www.nakatafoods.jp/>

【電話】  **0120-12-2486**

受付時間／8:30～17:30 休業日(日・祝)／(土)不定休

創業明治30年
紀州梅の里 

©製造販売元／中田食品株式会社
〒646-0292 和歌山県田辺市下三橋 1475

